

製品の機能が十分発揮されるように、施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。
この施工説明書と水栓金具・排水金具・電気温水器に同梱されている説明書と合わせてご確認ください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
- 使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表 示	意 味
警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

	このような総表示は、してはいけない「禁止」内容です。
--	----------------------------

- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様さまにお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

警告

	壁固定ねじ取付位置に様を入れて補強してください		電気配線工事・給排水工事は、関連する法令に従って、必ず「有資格者・業者」が行ってください		電源は交流100Vを使用してください		浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください
	キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。		火災や感電及び漏水の原因になります。		交流100V以外を使用すると過電流による火災の原因になります。		漏電により感電するおそれがあります。
	痛強おちる		有資格者		100V		200V

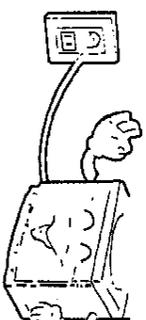
注意

	湯・水を逆に配管しないでください		凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください		カウンター・洗面器の上に乗らないでください		照明カバーは確実に取付けてください		工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください		使用後にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。
	水側でいきなり湯が出て、火傷をする原因になります。		凍結破損で漏水し家財等に損害を与えるおそれがあります。		故障及び転落・転倒してケガの原因になります。		落下してケガのおそれがあります。		漏水を起こすと、家財等に損害を与えるおそれがあります。		工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・カウンターのゆがみなどが必ず確認してください

警告

アース工事を行ってください
(ID種接地工事)

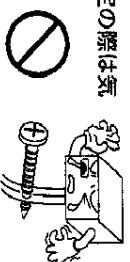
漏電により感電するおそれがあります。



(電気温水器付のみ)

電気コードを傷つけないでください

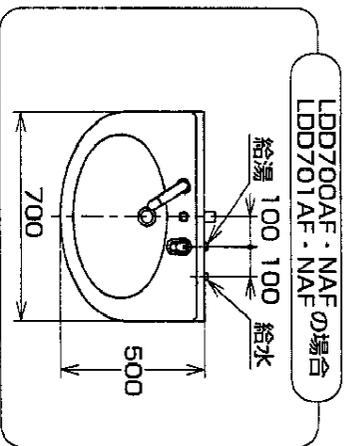
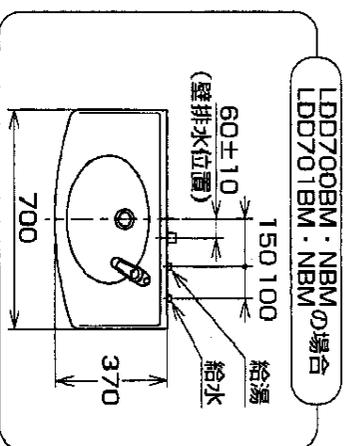
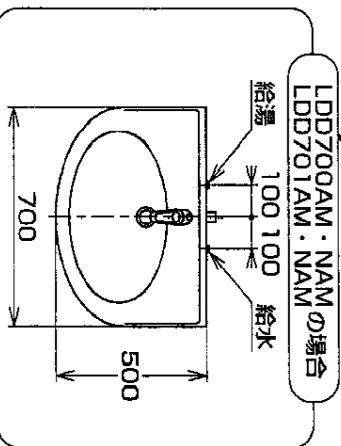
電気コードを傷つけると火災の原因があります。特に壁固定の際は気を付けてください。



☆工事寸法

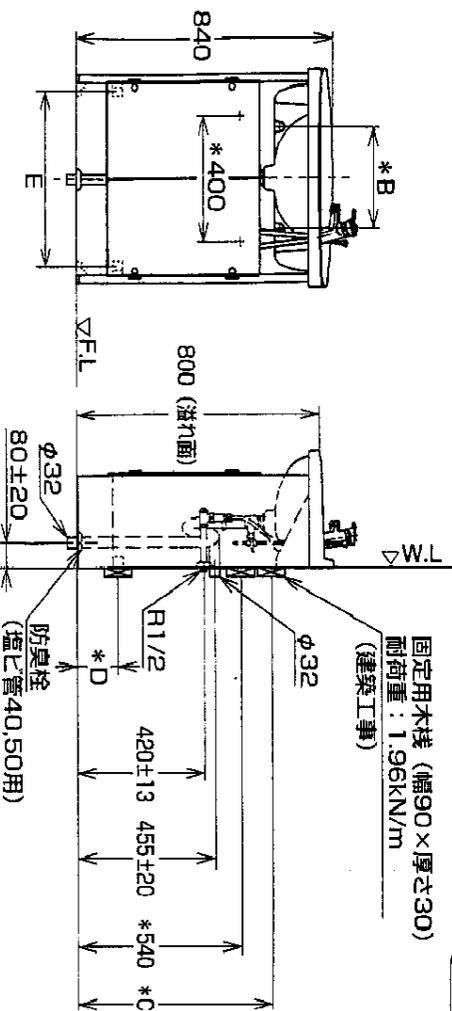
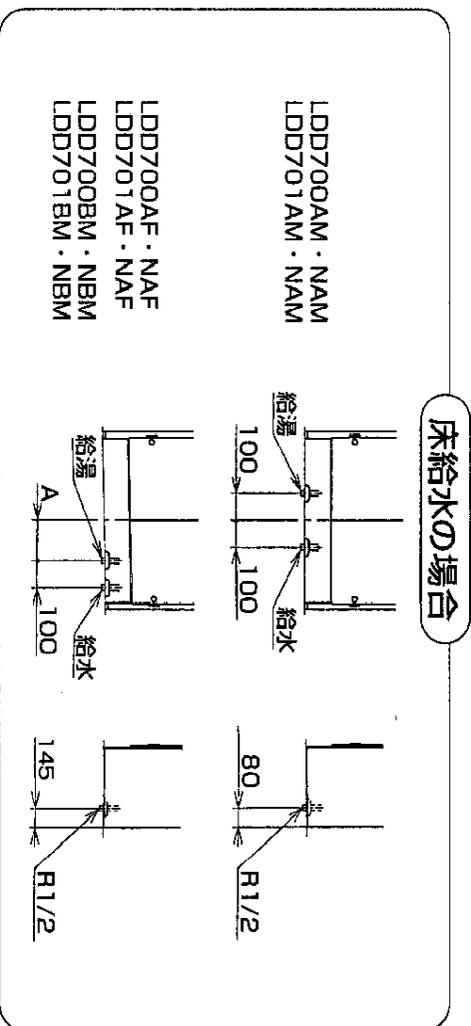
シングルレバー混合栓 ホーム付シングルレバー混合栓の場合

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 図はLDD700BMタイプです。その他の機種は外觀が若干異なります。
- *印は木ねじ位置を示します。



製品品番	止水栓	
	壁給水用	床給水用
LDD700AM・NAM LDD701AM・NAM	LTL594CAU×2個	LTL594CBU×2個
LDD700AF・NAF LDD701AF・NAF	LTL594CAIU×2個	
LDD700BM・NBW LDD701BM・NBW		

※止水栓は付属していませんので必要な場合は、下記品番の別売品をご購入ください。



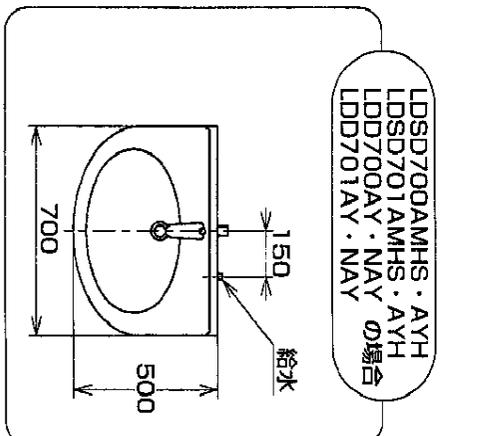
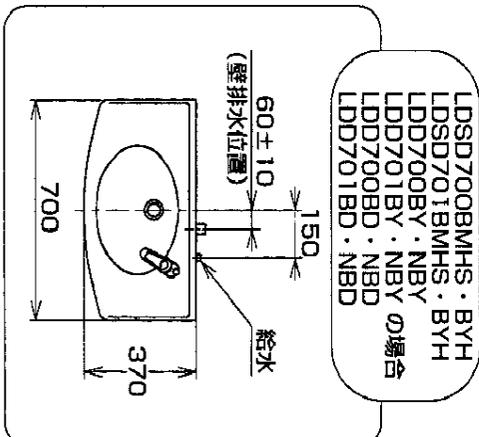
固定用木枠 (幅90×厚さ30)
耐荷重: 1.96kN/m

(建築工事)

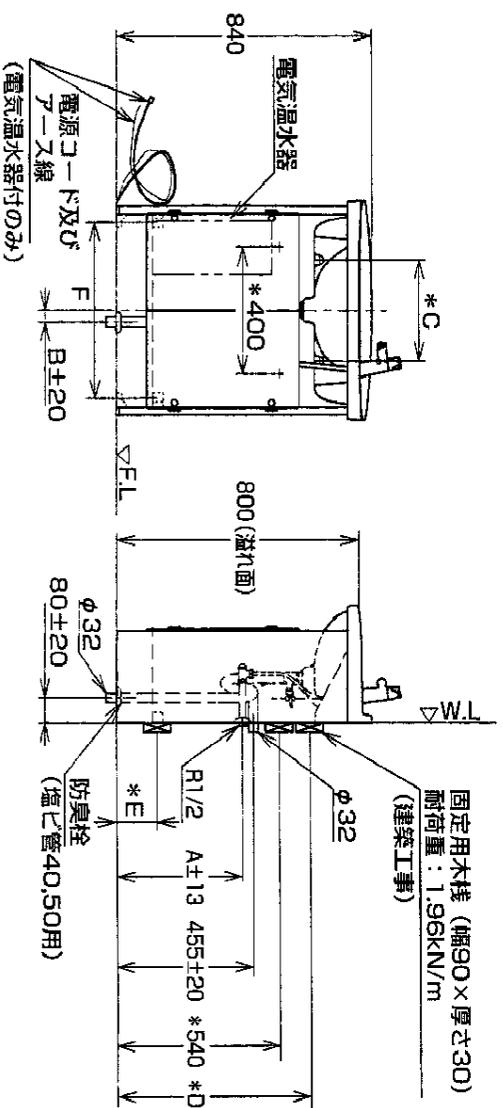
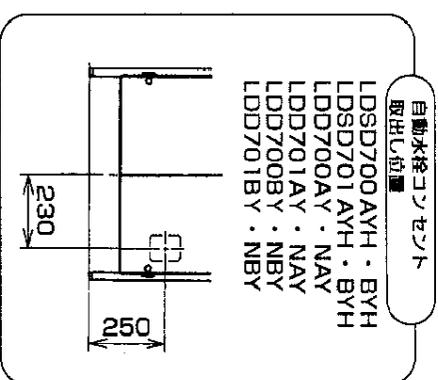
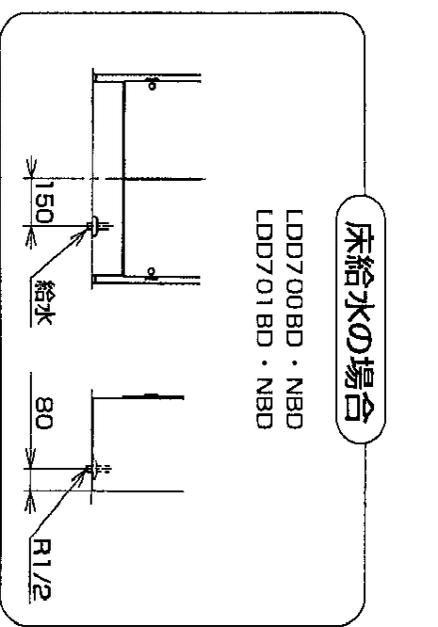
製品品番	給水(湯)位置		壁固定位置				
	A	B	C	D	E		
LDD700AM	-	304	634	135	573		
LDD700NAM				-	573		
LDD701AM・NAM				-	-		
LDD700AF	100	304	634	135	573		
LDD700NAF				-	573		
LDD701AF・NAF				-	-		
LDD700BM	150	314	672	135	573		
LDD700NBW				-	573		
LDD701BM・NBW				-	-		

単水栓・自動水栓・電気温水器付 (シングルレバー混合栓) の場合

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- 図はLDD700BDタイプです。その他の機種は外観が若干異なります。
- *印は木ねじ位置を示します。
- 電気温水器付の場合壁排水はできません。



製品品番	止水栓	
	壁給水用	床給水用
LDSD700AMHS・BMHS LDSD701AMHS・BMHS LDD700AYH・BYH LDD701AYH・BYH	LTLS94CAU × 1個	-
LDD700BD・NBD LDD701BD・NBD	LTLS94CAU × 1個 LTN65LX35 × 1個	-



製品品番	給排水位置		壁固定位置			
	A	B	C	D	E	F
LDD700AY	350	0		135	573	
LDD700NAY	350	0		-	573	
LDD701AY・NAY		40	304	634	135	573
LDSD700AMHS LDD701AMHS					135	573
LDSD700AYH LDD701AYH					135	573
LDSD700BD LDD700NBD		0			-	573
LDD701BD・NBD					-	573
LDD700BY LDD700NBY					135	573
LDD701BY・NBY			314	672	-	573
LDSD700BMHS LDD701BMHS		40			135	573
LDSD700BYH LDD701BYH		0			135	573

※自動水栓 (電温なし) 以外は止水栓を付属していませんので下記品番の別売品をご購入ください。

☆設置上の注意

- 湿気の多い場所では、パイプの腐食や木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- 取付けは必ず平滑な壁面としてください。

☆あらかじめ必要な電気工事（必ず電気工事店にて工事してください。）

＜電気温水器又は、自動水栓が付く場合は、電気工事を行って下さい。＞

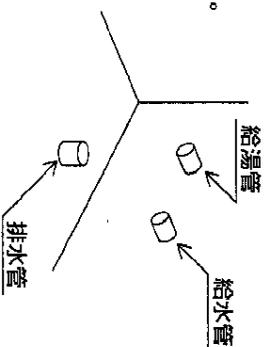
- 電源は、交流 100V (50/60Hz)、温水器消費電力 600W 又は、自動水栓消費電力 5W に適した配線をしてください。
- 電気温水器が付く場合は、漏電による感電防止のため、アース工事を行ってください。(D種接地工事)

☆使用条件（単水栓は除く）

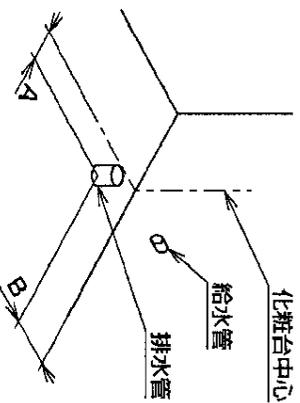
- 水栓金具の使用条件は水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。
- 電気温水器の使用条件は、電気温水器に同梱の施工説明書をご参照ください。

☆取付前の準備

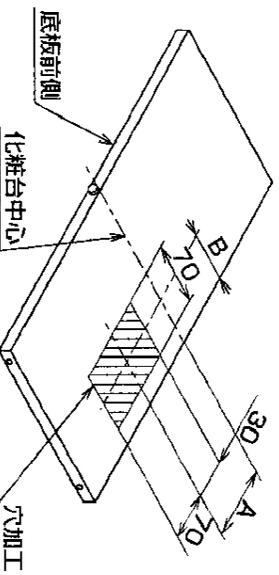
- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木棧を入れてください。
(壁面に固定用木棧が取付けられない場合は、前面に厚み12mm以上のクロス張りした板を強固に取付けてください。)
- 給水・給湯管を所定の位置に取出してください。
- 器具を取付ける前に必ず給水・給湯管内のゴミ、砂などを完全に洗い流してください。
- 化粧台の取付壁面は露出する部分がありますので、クロス貼り等の壁仕上げをしておいてください。
- 扉付タイプの化粧台で床給水・床排水仕様の場合は所定の位置に給水・給湯穴(φ52)、排水穴(φ90)を穴あけしてください。
- 排水管を所定の位置に取り出してください。
VP40、VU40は、仕上げ面より25mm立上げてください。
VP50、VU50は、仕上げ面より15mm立上げてください。
電気温水器付きの場合は、排水管サイズにかかわらず仕上げ面より75mm立上げてください。
- ウッドパネルタイプ電気温水器付き(シングルレバー混合栓のみ)の場合は、排水管位置を測定して下記の底板と側板を加工してください。



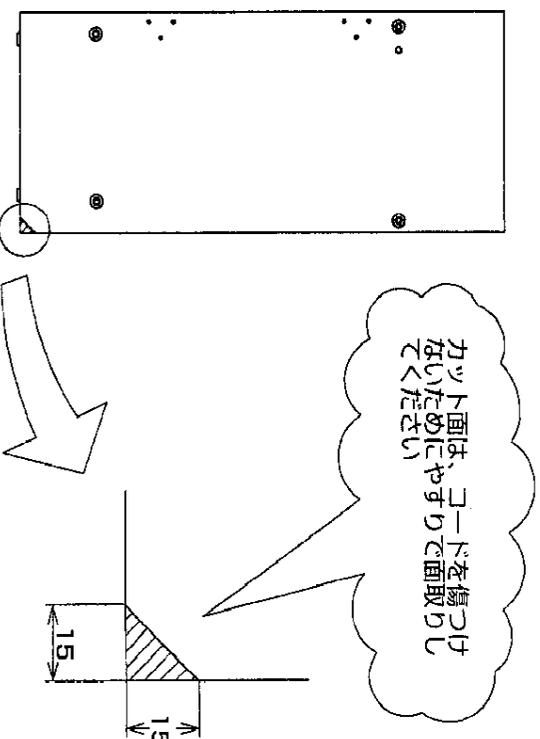
(1) 排水管位置を測定してください。



(2) 底板に穴加工してください。



- (3) 電源コード及びブザー線をキャビネット外へ取出す場合は電源コード及びブザー線を取り出す側の側板の後下部をカットしてください。
※図は左側板を示します。



☆取付手順 (番号順に取付けてください)

タイル・コンクリートの壁・床の場合は、現場に合わせて木ねじ位置に下穴を明け、木ねじ用プラグを打込んでおいてください。
(プラグ用下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。)

①キャビネット部の組立て (ウッドパネルタイプ 扉付)

※オープンタイプの場合は扉・丁番・底板及びそれらの固定用部品がありません。

① 左右側板の鬼目ナットに連結ねじを取付ける

＋ドライバー
連結ねじ
鬼目ナット

② 左右側板と前様、後様、底板を連結ねじに合わせて取付ける

各部材取付けの際前方に木目柄がくるよう取付けてください

③ 固定具をドライバーで回して締めつける

※前様・後様・底板とも同要領です

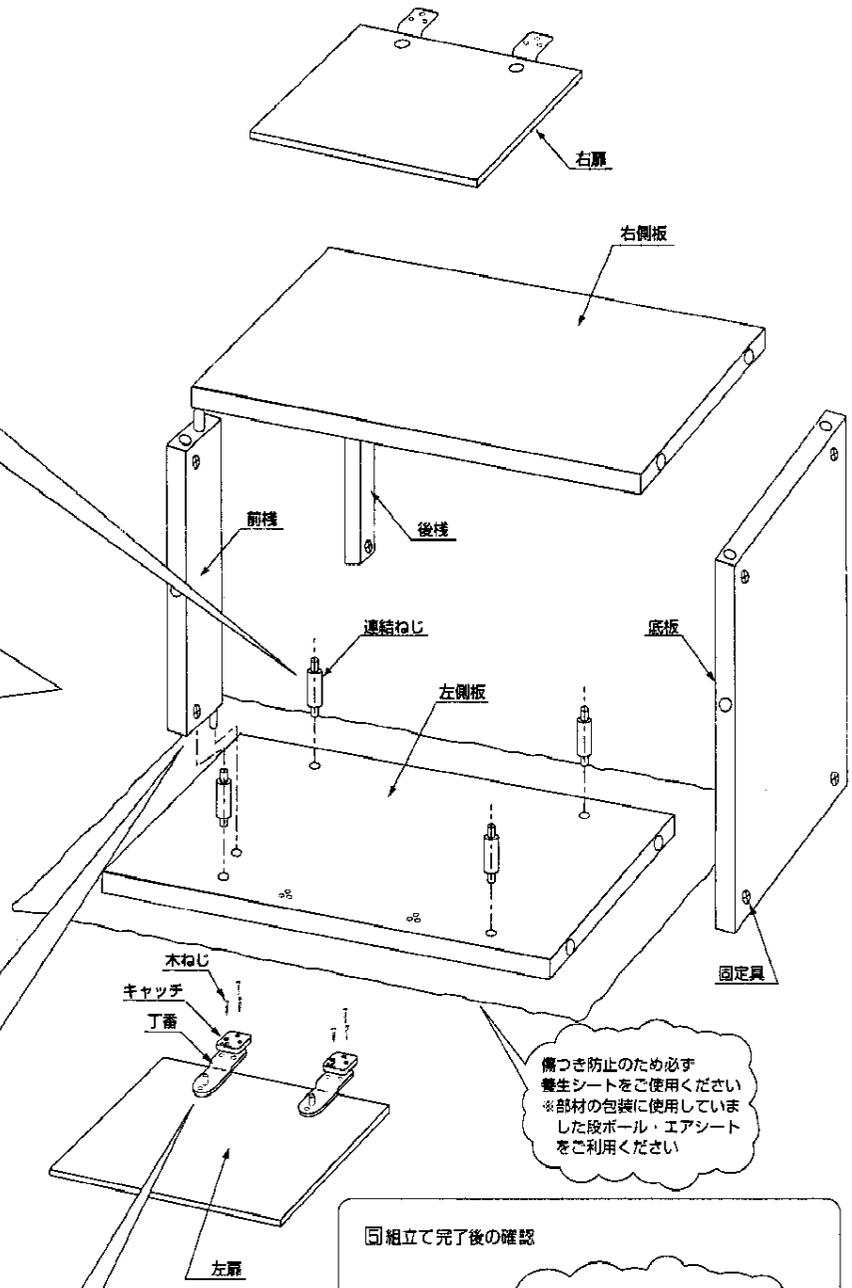
固定具

接合部のガタツキのないよう確実に締めつけてください

④ 左右側板の下穴に合わせ扉及びキャッチを取付ける

木ねじ (φ3×14)
キャッチ
丁番
側板
扉

丁番とキャッチの間にすぎ間が生じると扉の閉まり不良の原因となりますので確認しながらゆるみのないよう確実に締めつけてください



傷つき防止のため必ず養生シートをご使用ください
※部材の包装に使用していた段ボール・エアシートをご利用ください

⑤ 組立て完了後の確認

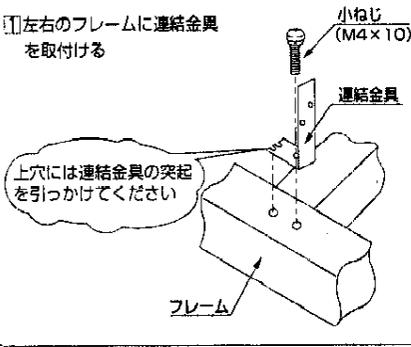
接合部にガタツキはありませんか
※ガタツキがある場合は固定具を増し締めしてください

扉の干渉はありませんか
※干渉する場合は丁番で調整してください

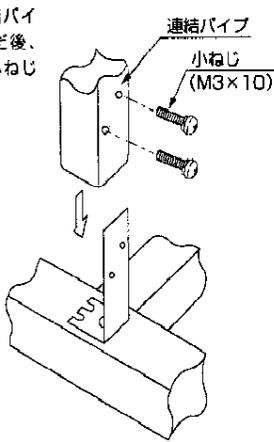
②キャビネット部の組立て (パイプフレームタイプ 扉付)

※オープンタイプの場合は、扉・丁番・下部の連結パイプ及びそれらの固定用部材・連結金具はありません。
 注)ねじ固定について強く締めすぎると、破壊のおそれがありますので電動ドライバーやインパクトドライバー等の使用はやめてください。

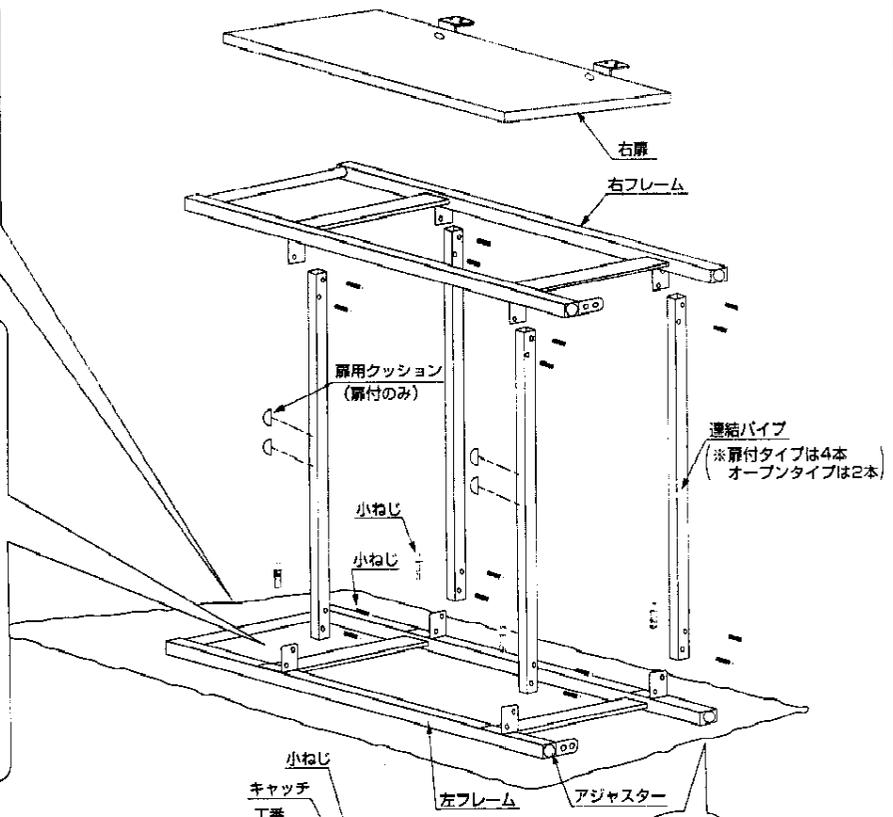
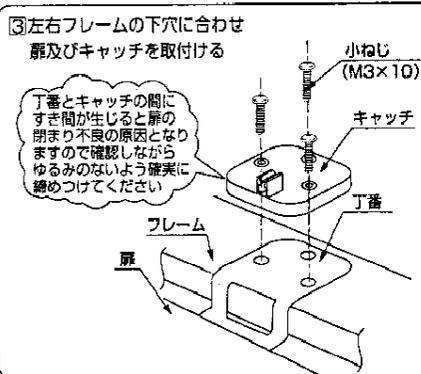
①左右のフレームに連結金具を取付ける



②連結金具に連結パイプを差し込んだ後、穴に合わせて小ねじで固定する

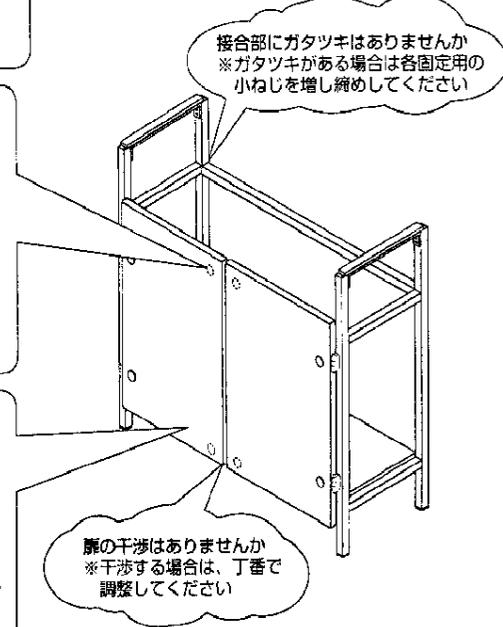


③左右フレームの下穴に合わせ扉及びキャッチを取付ける

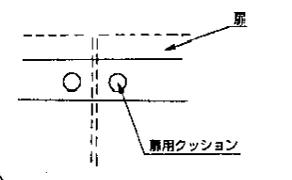


傷つき防止のため必ず養生シートをご使用ください
 ※部材の包装に使用していました段ボール・エアシートをご利用ください

④組立て完了後の確認



扉用クッションの取付け (扉付のみ)
 扉付タイプの場合、前方の連結パイプ上下の中央部に、扉の縦衝のため扉用クッションを貼付けてください



底板の取付
 底板を前面より差し込むようにして下部前後の連結パイプに置いてください

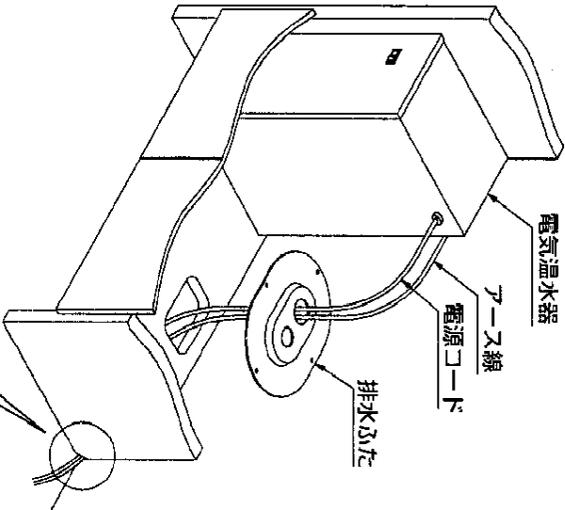


③ キヤビネットの取付け (ウッドパネルタイプ)

● オープン・扉付タイプとも①、②、③は共通です。

〈電気温水器を取付ける場合の注意事項〉

- 電気コンセントがキヤビネットを外にある場合は、キヤビネットを壁に固定する前に、電源コード及びヒューズ線を下図のように取出してください。



※ 脚板の切欠き部にコードを通すときは、壁との間にはさまないように注意してください

※ 電気温水器の取付けについては、順序の①の際に同梱の電気温水器専用の施工説明書を見て取付けてください。

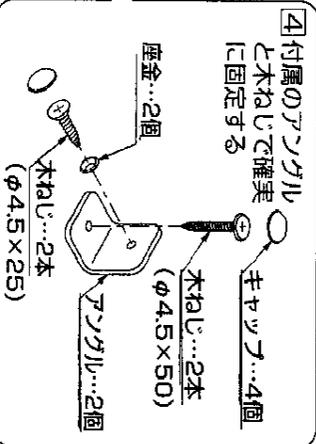
〈オープンタイプの場合〉

- 洗面器を仮置きしてキヤビネットの設置位置を決定する

- 付属の壁固定金具と木ねじで後壁を確実に固定する

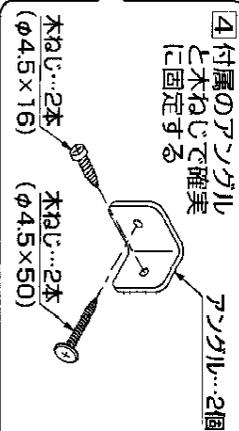


- 付属のアンクルと木ねじで確実に固定する

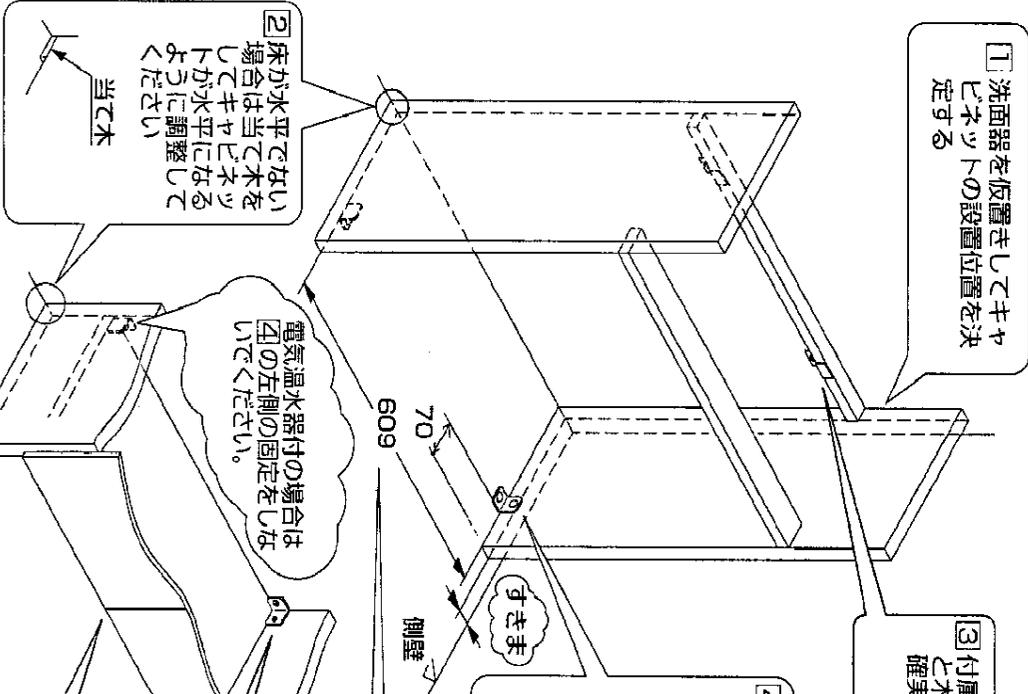


※ 床固定をする前に、キヤビネットがゆがんでいないか確認してください

- 付属のアンクルと木ねじで確実に固定する



※ キヤビネットがゆがんで取付していると扉の段差の原因となりますので、ゆがまないように確認してください



電気温水器付の場合は④の左側の固定をしないでください。

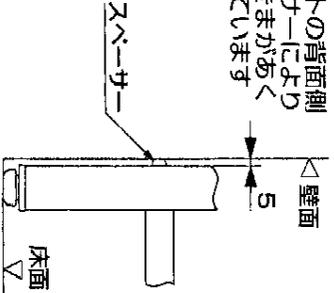
〈扉付タイプの場合〉

④ キャビネットの取付け (パイプフレームタイプ)

● オープン・扉付タイプとも取付け方は共通です。

① 洗面器を仮置きしてキャビネットの設置位置を決定する

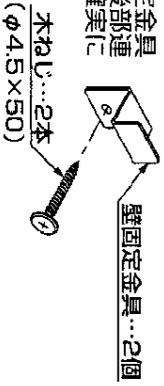
※キャビネットの背面側は、スプーサーにより5mmのすきまがあくようにしています



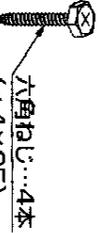
側壁▽

すきま

③ 付属の壁固定金具と木ねじで後部連結パイプを確実に壁固定する



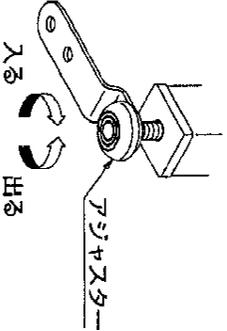
④ 付属の六角ねじで床固定金具を確実に床固定する



※床固定をする前に、キャビネットがゆがんでいないか確認してください
※床固定の際、パイプを傷つけないように保護紙をあてて作業してください

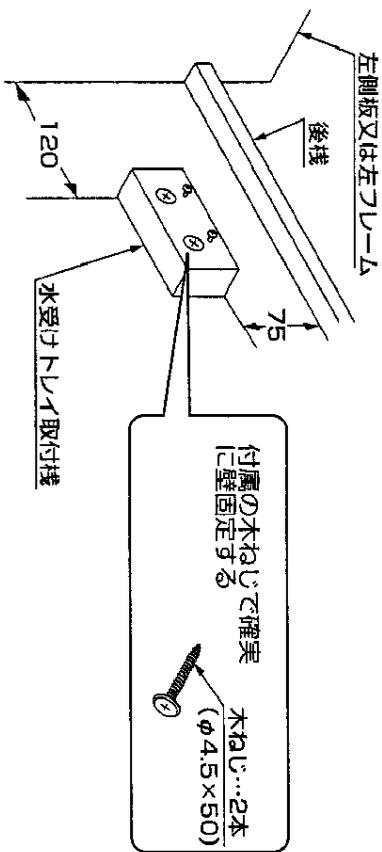
※キャビネットがゆがんで取付いていると扉の段差の原因となりますので、ゆがまないように確認して壁固定及び床固定を行ってください

② 床が水平でない場合はアジャスターを調整してキャビネットが水平になるようにしてください



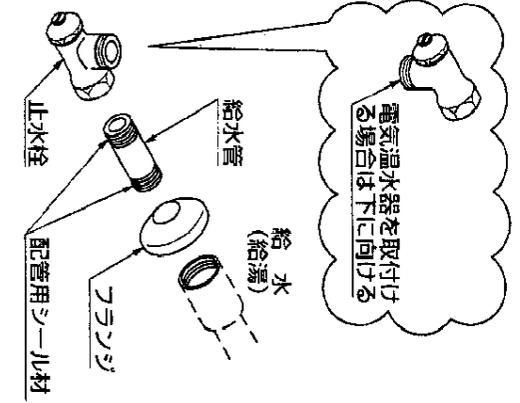
609

⑤ 水受けトレイ取付機の取付け (ホース付シンゲル水栓の場合のみ)

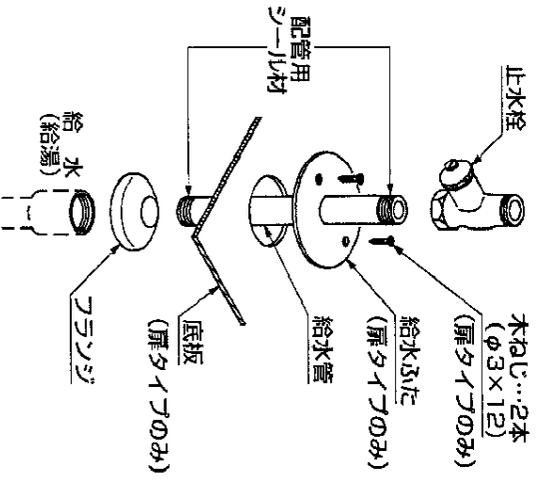


⑥ 止水栓の取付け (別売品)

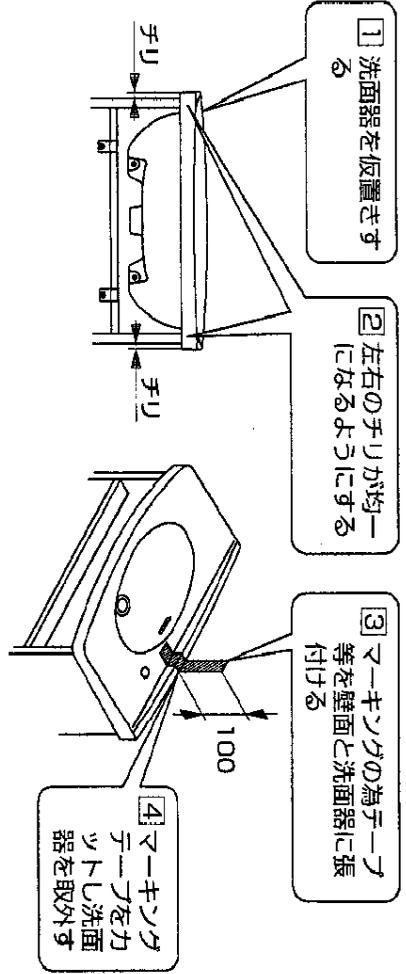
- ナットは工具で確実に締付けてください。
- 壁給水の場合



- 床給水の場合

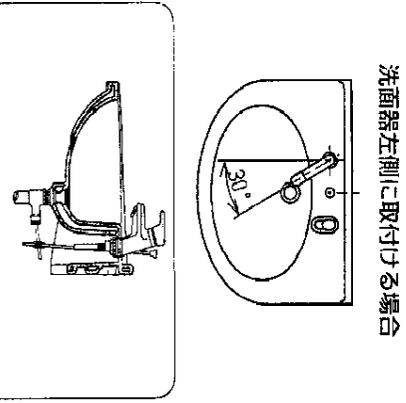
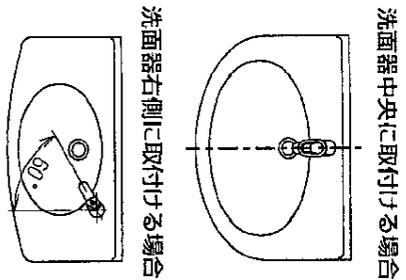


⑦ 洗面器取付前の準備



⑧ 水栓金具・排水金具の取付け

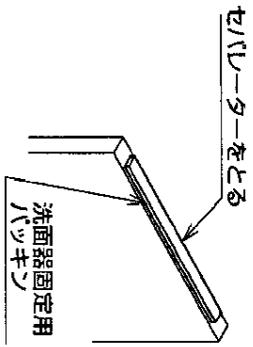
- 洗面器に水栓金具及び排水金具を取付けてください。
- 水栓金具の取付けについては、水栓金具に同梱されている説明書をご参照ください。
- 排水金具の取付けについては、排水金具に同梱されている説明書をご参照ください。
- 水栓金具は、吐水口が洗面器中央を向くように取付けてください。(下図参考ください。)



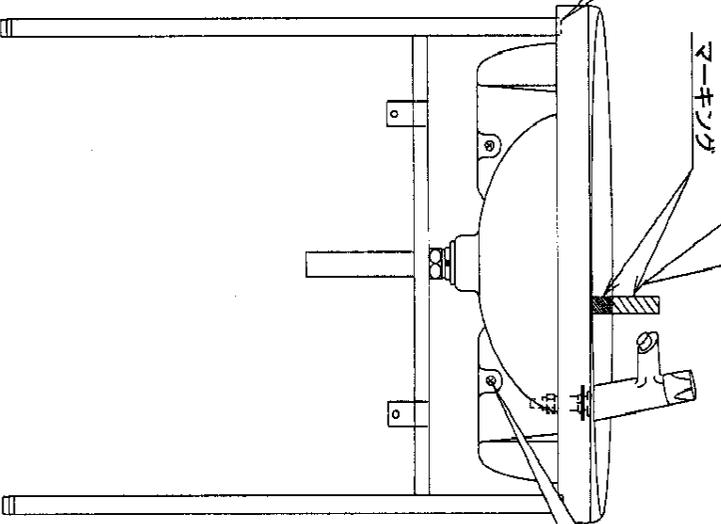
⑨洗面器の取付け

注) 洗面器を取付ける前に必ず排水金具を取付けください。洗面器を取付けた後は、排水金具の取付けは出来ないうことがあります。

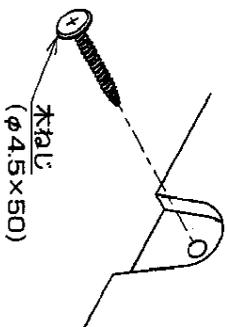
- 1 洗面器固定用パッキンを取付面中央に張付ける (左右)



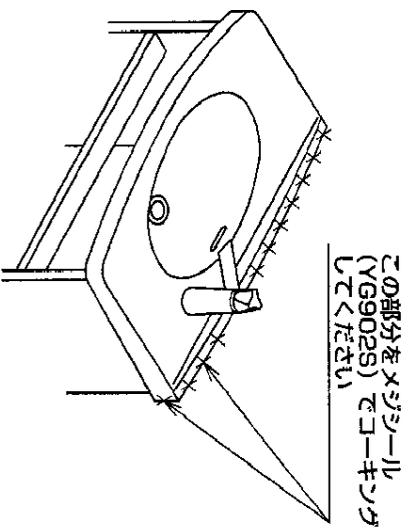
- 2 スレーキング位置に合わせ洗面器をキャビネットにのせてスレーキングテープを取る ※この時、洗面器と固定用パッキンが接着するよう軽く洗面器をpushしてください



- 3 洗面器を壁に固定する

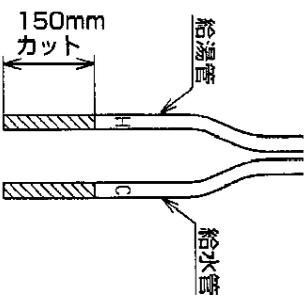


- 4 洗面器と壁の処理を行う



⑩給水・給湯管の接続

- 給水・給湯管を止水栓に接続してください
接続要領は、水栓金具に同梱されている施工説明書を参照ください。
- 電気温水器付タイフの場合、右図のように先端より150mmカットしてください。

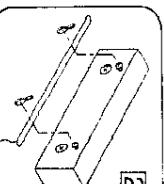
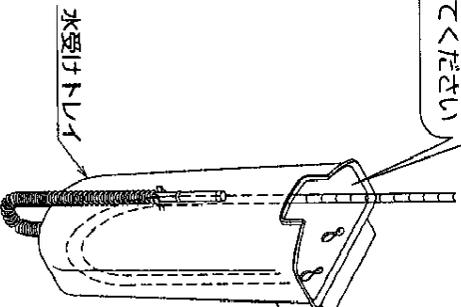


⑪電気温水器の取付け (電気温水器付タイフの場合)

- 電気温水器の取付については、電気温水器に同梱されている施工説明書を参照ください。

⑫水受けトレイの取付け (ホース付きシングルレバー混合栓のみ)

① 水受けトレイにシャワーホースを入れてください



② 水受けトレイを取付様に合わせてください

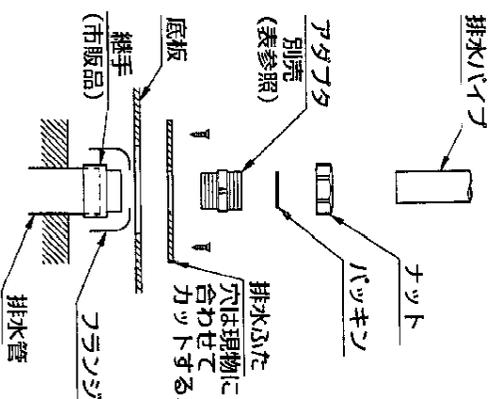
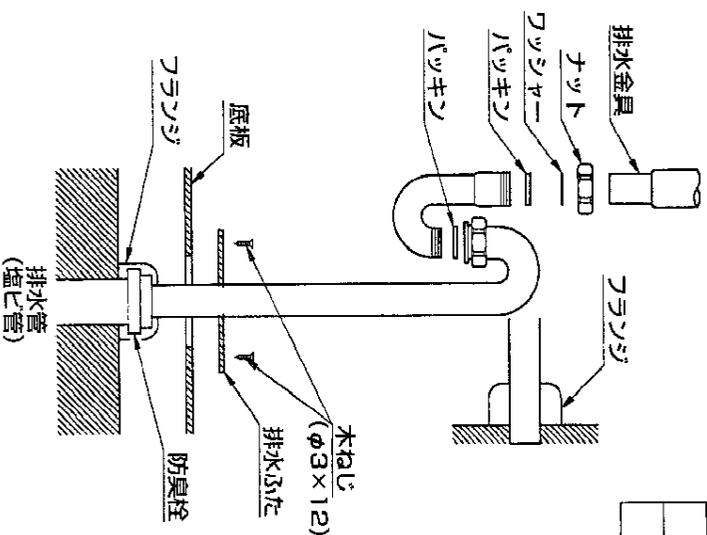
水受けトレイ取付様

⑬排水トラップの取付け

- ナットの締付けは排水金具が回転しないよう工具で確実に締付けてください。
- Sトラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップ及び、フランジを差込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ（下表）で確実に接続してください。
- 電気温水器の取付については、電気温水器に同梱されている施工説明書を参照ください。

集合住宅、高層住宅の場合

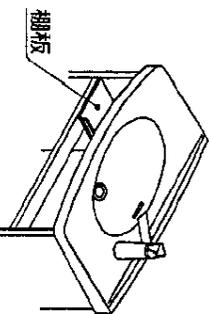
アダプタの種類	サイズ
T1122 (ガス管用)	R1¼
T1122J (塩ビ管用)	30用
T1122T (塩ビ管用)	40用



※排水ふたは、扉付きタイフのみ同梱しております

14 棚板の取付け (ウッドパネルタイプのみ)

- 棚板を取付けてください。

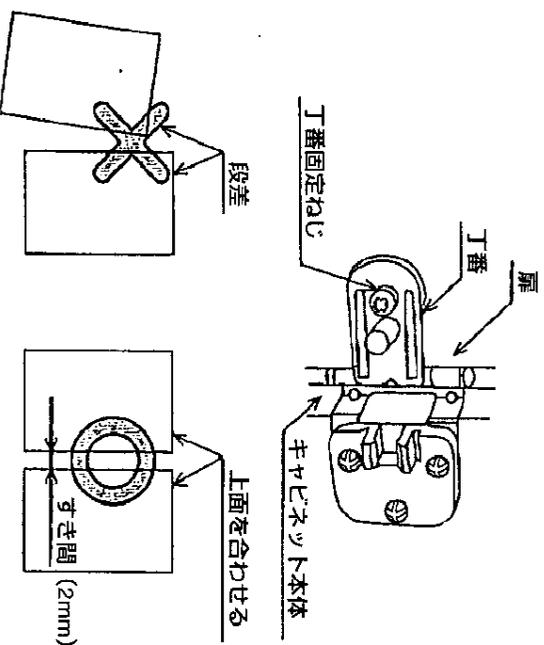


15 丁番の調整

- (1) 丁番固定ねじを少しゆるめてください。

※ 丁番固定ねじをゆるめすぎると扉がはずれるおそれがありますので注意してください。

- (2) 左右扉のすき間が均一 (2mm) になるよう左右の傾きを調整してください。
- (3) 調整後は、丁番固定ねじを確実に締めつけてください。



注) 丁番固定ねじをしつかり締めつけてゆるみがないことを確認してください。
ゆるみのある場合は、扉がはずれるおそれがあります。

☆ 結露防止 (電気温水器付タイプの場合)

- 結露のおそれがある場合は、連結管に市販 (16mm用) の断熱材を巻いてください。

☆ 寒冷地タイプの水抜き方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜きコックを回しております。凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜き操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。
また、お客様にも水抜き方法をご指導ください。

(水抜手順)

- (1) 水栓金具の水抜き方法については、水栓金具に同梱の施工説明書を参照してください。
- (2) 電気温水器の水抜き方法については、電気温水器に同梱の施工説明書を参照してください。

☆ 取付完了後の確認と清掃

- キャビネット及び洗面器が、かたつきのないよう確実に固定されていることを確認してください。
- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- 湯水の出が多い場合は、洗面器からの水跳ねや水あふれのおそれがありますので、止水栓を調整してください。
- 電気温水器タイプ又は、自動水栓タイプの場合、設置後長期間使用されない場合は差込みブラクを抜いてください。
- 製品の清掃は、ぬれた布をかたくしぼって汚れをふいてください。
(頑固な汚れには、うすめた中性洗剤の液を湿らせた布でふいてください。)
その後ぬれた布をかたくしぼってふきとってください。
- 仕上げにからぶきしてください。
- シンナー・ベンジンなどの使用は表面の变色・変質の原因となりますので、絶対に使用しないでください。